

1 単元名 発見！仕事のくふう！レポートを作って紹介しよう『仕事のくふう、みつけたよ』（光村図書）

2 指導にあたって

(1) 単元設定の理由

学習者は、これまでに、単元「春のくらし」「気持ちをこめて、『来てください』」の学習を通して、春らしさを感じる文章を書いたり、相手に分かりやすいように、案内の手紙を書いたりしてきた。学習者はとても意欲的に学習に取り組む児童も多く、自分の考えや登場人物の気持ちを伝えたり書いたりすることは得意としている児童も多い。「春のくらし」や「気持ちをこめて、『来てください』」の学習で春を感じるものの短文を書いたり、家族や身近な人に運動会の招待状を書いたりすることで書くことへの苦手意識は薄れてきている。しかし、自分の考えを明確に書き表すことや、構成をふまえた文章を書くことに課題があるため、読み手にとって分かりにくい文章になってしまう姿が見られた。そこで、総合的な学習の時間や社会科見学でインタビューをしたことや、図書館の図書資料などを利用して調べた情報を他者に伝える活動を通して、相手を意識し情報を整理して伝える力を身に付けさせたいと考えた。

本単元では、学習材『仕事のくふう、みつけたよ』（光村図書3年上）を扱う。ここでは、身近にある仕事の工夫に目を向け、実際に見学やインタビューをして分かったことを友達に報告する文章を書く単元である。自分の伝えたいことが相手に分かりやすく伝えるために、「調べたきっかけや理由」「調べ方」「分かったこと」「まとめ」などの文章を構成する要素を意識しながら報告文を書くことを学ぶことができる教材である。

本単元の学習者の活動目標は、「発見！仕事くふう！レポートをつくって紹介しよう！」である。学習者が発見したお仕事の工夫をレポートにまとめたり、学年の友達に発信したりすることにより、書くことの楽しさに気付くことができるようにしたい。また、総合的な学習の時間でも報告文を書く・読むという活動に生かしていくために、基本的な型を身に付けよりよく伝わる書き方を身に付けることができるようにしたい。

(2) 言葉による見方・考え方を働かせ、考えを形成し、共有する指導の工夫

学習者は、「仕事のくふう、みつけたよ」の学習で、興味のある仕事を選び、その仕事の内容から工夫していると感じられた事柄を選択し、それを文章で報告できるようにする。伝えたい事柄を明確にするため、指導の手立てとして、構成のモデルを例示し、学習者が構成しやすくし、具体的に報告文を書くことができるように配慮していきたい。

3 単元目標

(1) 活動目標 「発見！仕事のくふう！レポートをつくって紹介しよう！」

(2) 指導目標と単元の評価規準

指導目標	評価規準	評価の観点
○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができるようにする。 ○段落の役割について理解できるようにする。	○改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 ○段落の役割について理解している。	[知識・技能] (1) ウカ
○相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、書き表し方を工夫することができるよう	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	[思・判・表] B 書くことウ

にする。		
○学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとする態度を養う。	○進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいこと明確にし、調べたことを報告する文章を書こうとしている。	主体的に学習に取り組む態度

4 単元の構想と評価計画

学習活動と学習者の意識（全10時間）	主な指導・支援	評価規準
事前 仕事のくふうを見つけ、報告文を書くために自分の親しみのある人にインタビューをする。 第1次 身の回りの知っている仕事名や知りたいと思う仕事を共有し、報告書を作る計画を立てる。 ・・・・・・・・・・2時間 ①身の回りの知っている仕事名や知りたいと思う仕事を共有し、学習計画を立てる。 どんな仕事があるのかな。 どのような工夫しているのか調べたい。 知りたいと思った仕事を選びについて、伝えよう。 ②身の回りにある仕事に目を向け、相手や目的を意識して、仕事を選ぶ。 どんな仕事があるのか詳しく知りたい。 詳しく知りたい仕事を出し合おう。 自分が工夫を調べたい仕事を決めよう。 第2次 相手や目的を意識して必要な情報を集め、その上で集めた情報を比較したり、分類したりして伝えたいことを明確にして報告書を書く。 ・・・・・・・・・・7時間(本時4／7) ③調べ方を確かめ、仕事について調べるための計画を立てる。 さまざまな情報の集め方を確かめよう。 調べるための計画を立てたい。 計画に沿って情報を集め、内容を決めよう。 ④⑤相手や目的を意識して情報を集め、集めた情報を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。	○各自が作成した「アイラブマイタウン柿原」を基に指導者が作成した報告書を紹介することで、学習のイメージをもてるようにする。 ○仕事を学習者にあげさせるだけでなく、指導者も提示し、複数の中から調べたい仕事を選ぶよう助言する。 ○現実的で効果的な調べ方を選択できるように様々な調べ方を提示する。 ○調べたことと自分の考えを分けて記録することを助言	○進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいこと明確にし、調べたことを報告する文章を書こうとしている。(発言・ワークシート) ○段落の役割について理解し、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(ワークシート) ○相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいこと

たくさんの情報を集め、どのようなことを書こうか	見学したことや知っていることをメモに書こうかな。	工夫や友達に知ってもらいたいことを書こう。
⑥内容のまとまりごとに伝えたいことを整理し、文章の構成を考えることができる。		
たくさん情報を集め、特に伝えたいことを決めよう。	何を書くか、短い文でメモに書こうかな。	番号を使うことや自分の感想を書こうかな。
⑦⑧⑨自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫して報告文を書く。		
分かりやすくするために写真を使おう。	自分の考えはまとめに書こうかな。	使った本の情報も詳しく書こう。
第3次 報告文を読み合い、感想を交流する。・・・1時間		
⑩報告する文章を読みあって感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける。		
段落にきちんと分かれていて分かりやすい。	インタビューをすると説得力があるね。	仕事の良いところを見つけよう。

する。

を明確にしている。(発言・ワークシート)

○組み立てを確認、それぞれの内容のまとまりごとに書きたいことをメモするとよいことを助言する。

○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。(ワークシート・付箋・発言)

○報告文の書き方や、記号の使い方など具体例を使っておさえる。
○メモや報告文の書き方の手引きを基に報告文を書き、分析できるよう助言する。

○進んで調べたことや伝えたいことを報告する文章を書こうとしている。(報告文・ワークシート)

○友達が書いた報告書を読むときには、様々な視点から感想が書けるように手引きを用意する。

○自分の考えやそれを支える理由を挙げて伝えることのよさに気付いている。(ふりかえりカード)

5 本時の学習

(1) 本時の指導について

本時は報告文の組み立てが分かり、組み立てメモを作ることができることをねらいとしている。発信する仕事の工夫について集めた資料から、相手を意識して分かりやすい報告文を書くための組み立てメモを作成させる。そのために、文章の構成は、「調べたきっかけや理由」「調べ方」「分かったこと」「まとめ」というモデルを例示し、構成しやすくしたい。また、組み立てメモを友達と共有することで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。また、根拠となる資料「アイラブマイタウン！柿原」の情報が不足している場合はインターネットや図書等で資料を集めることもできるようにする。

(2) 目 標

① 活動目標

組み立てメモを書いて、ほうこくする文章の組み立てを考えよう。

② 指導目標

内容のまとまりごとに伝えたいことを整理し、文章の構成を考えることができるようにする。

(3) 展 開

学習活動	主な指導・支援	具体の評価規準
1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。 組み立てメモを書いて、ほうこくする文章の組み立てを考えよう。 2 報告する文章の組み立てを確かめる。 3 それぞれの部分に何を書くのか、組み立てメモにまとめる。 4 今日の学習を振り返る。	1 学習計画や前時までの内容を想起できる場を設けることにより、本時のめあてにつなげる。 2 構成について例を示し、項目に当てはめるようにすることで、書くための手がかりとすることができるようにする。 ○例を提示し、組み立てメモの書き方を見つけることができる。 ○国語科や総合的な学習の時間、社会科で作成した「アイラブマイタウン！柿原！」を活用し、進んでメモに書くことができるようにする。 3 学習者が、書く文章の組み立てを考えて、各項目に色分けしたカードに書くことができるようにする。 ○書くことが苦手な学習者には、書きこみ式の手引きを渡す。 4 本時の気づきを発表し合う場を設定し、見通しをもつことができるようにする。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を考えている。 (ワークシート・発言)

(4) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、内容のまとまりごとに伝えたいことを整理し、文章の構成を考えながら組み立てメモを書くことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	・分かりやすい構成「調べたきっかけや理由」「調べ方」「分かったこと」「まとめ」を提示し、参考にできるようにする。 ・書くことが苦手な学習者には個別に書き込み式の手引きを渡し、組み立てメモを書くことができる。